※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学と文化	単位数	１単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	独自教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会生活を営む中で必要となる数学の知識を習得します。身近な教材を多く活用しますので、楽しみながら学習を進めてください。
・ただ問題を解くだけではなく、数学の有用性や歴史について深く理解しようと努めてください。探究するほど面白さを感じることができる内容になっています。授業中に気付いたことや感じたことは、プリントにメモしておきましょう。
・知識を定着させるために、授業内容をしっかり復習してくれることを期待します。

2　学習の到達目標

（１）経済や測定など、社会生活を営むうえで数学が使われていることを理解する。
（２）身の回りの事象を数学的に捉えて論理的に考察し、数学を応用して課題解決を図る力を養う。
（３）数学と人間がどのように関わって発展してきたかに関心を持ち、自ら意欲的に探究する態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・身の回りの数学について数量や図形を用いて適切に処理できる。 ・身の回りの数学に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けられる。	・身の回りの数学におけるいろいろな事象について、数学的にとらえて論理的に考察し、表現することができる。	・身の回りの数学に関する数理的な諸概念に関心をもち、それらを意欲的に探究している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
半期	第1章　身の回りの数学	1. いろいろな場合の数 2. 身の回りの図形 3. 数学的な表現の工夫	a:数学 A で学習した樹形図や組み合わせの総数の求め方を利用して、身の回りのあらゆる場合の数を求めることができる。 b:身の回りにある図形を数学的に考察し、これまで学習した図形の性質と関連付けることができる。 c:あみだくじや一筆書きを数学的に分析し、理解しようとしている。	テスト 授業プリント	テスト 授業プリント	授業プリント ノート提出
	第2章　社会生活と数学	1. 経済と数学 2. 測定と数学 3. コンピュータと人間の活動	a:金利のしくみや測定に必要な計算方法を理解し、計算して求めることができる。 b:コンピュータの発展をもたらした数学について考察し、GPS や標本調査に活用することができる。	テスト 授業プリント	テスト 授業プリント	
	第3章　数学の発展と人間の活動	1. 数と人間 2. 図形と人間 3. 数学と文化	a:数列や位取りについて理解し、計算して求めることができる。 b:三平方の定理や円周率、黄金比について考察し、身の回りに隠された数学を分析することができる。 c:あらゆる文明で数字が発展してきた歴史について理解を深めようとしている。	テスト 授業プリント	テスト 授業プリント	授業プリント ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度